

「東日本大震災と道路」パネル展の状況について(青森)

■パネル展の概要

①開催目的

東日本大震災により甚大な被害を受けましたが、地域の防災力の向上と被災地への思いを風化させないようにするためには、地域・世代を超えて今回の教訓を共有化することが必要と考えております。

道路の被災状況や障害物を取り除いて緊急車両が進行できるようにする道路の啓開・復旧の取り組み、道路が果たした様々な効果等を国民の皆様にお知らせするとともに、今後の課題などについて、ご意見を伺うことを目的にパネル展を開催するものです。

②開催月日:平成23年9月30日(金)～10月2日(日) 10時～20時

③開催場所:サンロード青森

④主催等:東北6県、仙台市、東北地方整備局
(後援)東日本高速道路株、地方紙8社

■実施内容

①パネル展示

巨大津波襲来や沿岸部の被災前後の状況、道路の啓開・復旧状況、道路の果たした役割・これからの道づくり等に関するパネルを45枚展示。

②ビデオ上映

「東日本大震災における津波状況」と「道路・橋の被災、啓開、復旧状況」の2部構成で繰り返し放映

③アンケート調査

■会場の様子

- ・来場者数:約3,300人が来場
- ・アンケート調査:約560件の回答

買い物途中の方でも足を止め、真剣にパネルをのぞき込む姿が多かった。また、多くの方々にアンケート調査のご協力をいただいた。

■これまでの開催概要

宮城県:8月26日～8月28日 JR仙台駅 約44,000人来場

山形県:9月2日～9月4日 霞城セントラル 約3,800人来場

岩手県:9月9日～9月11日 アイーナ岩手県民情報交流センター 約1,450人来場

福島県:9月16日～9月18日 イオン福島 約3,100人来場

秋田県:9月23日～9月25日 JR秋田駅 約3,800人来場



▲多くの方に来場いただいた



▲ビデオ上映コーナー



▲多くの方が真剣にパネルをのぞき込む



▲家族連れで来場



▲若い方も多数来場